

Open Source Software Learning Management System - **Moodle**

**コースクリエイターコース**



# 目次

<b>Chapter 1 Moodle の概要 .....</b>	<b>1</b>	<b>Chapter 5 コースを設計する .....</b>	<b>81</b>
1-1 本コースの概要.....	2	5-1 コース設計の流れ.....	82
1-2 Moodle についての概要.....	3	5-2 設計したコースを Moodle コースへ.....	84
1-3 Moodle を稼働する環境.....	5	5-3 コースの評価.....	84
<b>Chapter 2 Moodle を使ったコースを受講する .....</b>	<b>7</b>		
2-1 初めて受講する学生.....	8		
2-2 オフライン授業を受ける.....	10		
2-3 オンライン授業を受ける.....	12		
2-4 HTML コーディング基礎：画像の埋め込みリソースへのパス.....	13		
<b>Chapter 3 コースを作成する .....</b>	<b>21</b>		
3-1 コースとユーザ登録.....	22		
3-2 コースの内容を制作する.....	32		
3-3 配布データをコースに追加する.....	36		
3-4 テキストや講義そのものを提供する.....	41		
<b>Chapter 4 コースを運用する .....</b>	<b>45</b>		
4-1 コミュニケーションツールの利用.....	46		
4-2 課題の作成と提出の管理.....	56		
4-3 小テストの実施.....	62		
4-4 成果に対するバッチの付与.....	70		
4-5 アンケートと投票.....	74		
4-6 成績の管理.....	78		

Moodle に関するアウトソーシングを請け負います。

- ・ 構築
- ・ テーマデザイン
- ・ 運用、サポート
- ・ 開発
- ・ 教育
- ・ コースデザイン
- ・ コンテンツ作成
- ・ ビデオ撮影、作成

株式会社イーラーニング

TEL 03-5404-3527

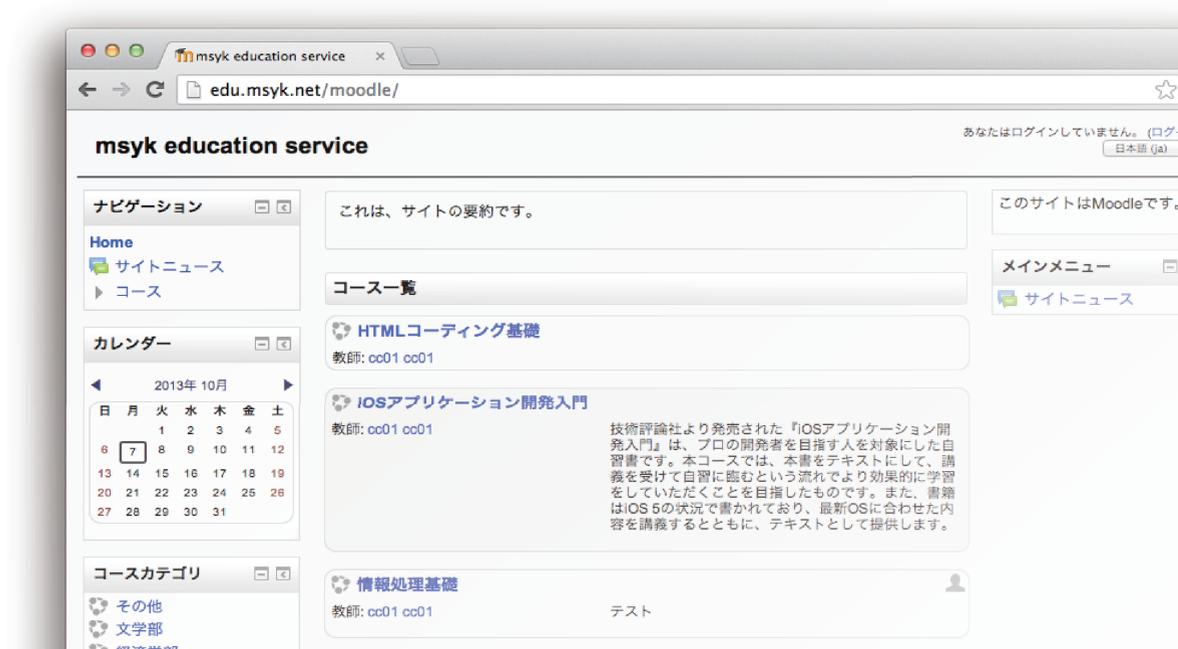
osslms@e-learning.co.jp

<http://www.e-learning.co.jp/>

<https://www.facebook.com/elearningJPN>

# Chapter 1 Moodle の概要

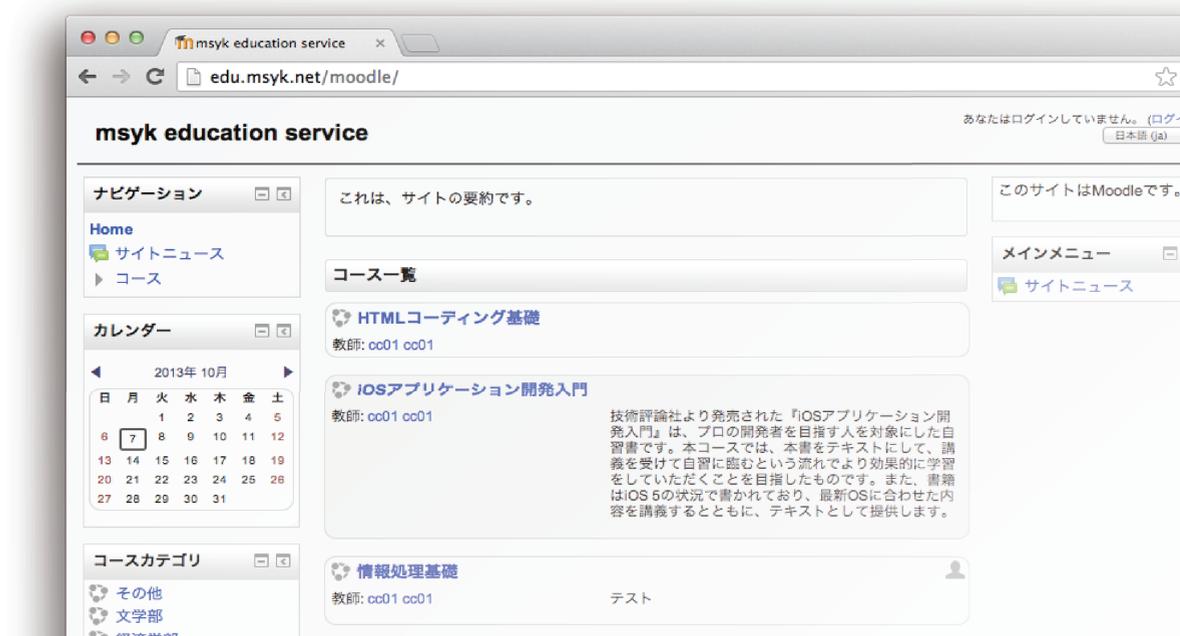
コースを開始するにあたり、受講環境やコース全体の説明を行います。そして、Moodle がなぜ利用され、どのような場所で使われ、Moodle を使うメリットを、教育環境の現状と併せて説明します。





# Chapter 3 コースを作成する

この章から実際にコースを作る作業を行います。コース全体の設定や、何回かに渡るコースの1つ1つのセクションの設定を行います。また、テキストの配布やファイルの配布など、Webサイトである特性を生かした使い方を解説します。



# 3-1 コースとユーザ登録

## Moodle のコース

### 1 科目に相当するものを「コース」

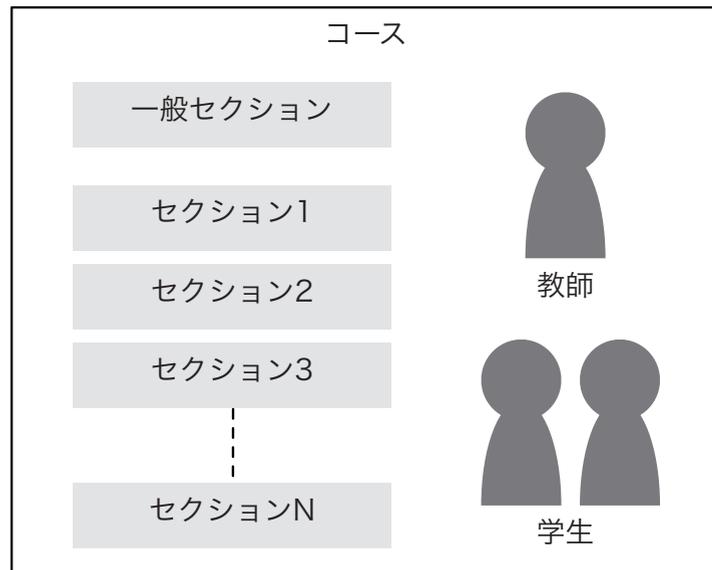
- ・ 1 時限に相当するものを「セクション」(あるいは「トピック」)と呼ぶ
- ・ 個別のセクションの前に「一般」という全体説明的なセクションがある

### コースに対して設定するもの

- ・ コースの教師、コースの受講者
- ・ 評価、バッジ

### セクションに対して設定するもの

- ・ ファイル、テキスト等のコンテンツ
- ・ 小テストや課題などの「活動」(活動は Chapter 4 で解説)



## コースの設定ページ

The screenshot shows the 'コース設定を編集する' (Edit course settings) page in Moodle. The page is divided into several sections:

- 一般 (General):** Fields for '長いコース名' (Long course name), 'コース省略名' (Course short name), 'コースカテゴリ' (Course category), '可視性' (Visibility), '開講日' (Start date), and 'コースIDナンバー' (Course ID number).
- 説明 (Description):** A rich text editor for the 'コース概要' (Course overview) and a file manager for 'コース概要ファイル' (Course overview file).
- コースフォーマット (Course format):** Fields for 'フォーマット' (Format), 'セクション数' (Number of sections), 'コースセクションの非表示' (Hide course sections), and 'コースレイアウト' (Course layout).
- アビランス (Advanced):** Fields for '言語の強制' (Force language), 'ニュースアイテムの表示件数' (Number of news items to display), '学生に評価表を表示する' (Show evaluation forms to students), and '活動レポートを表示する' (Show activity reports).

▼ ファイルおよびアップロード

最大アップロードサイズ  ↓

▼ 完了トラッキング

完了トラッキングを有効にする  Yes ↓

▼ ゲストアクセス

ゲストアクセスを許可する  No ↓

パスワード   マスク解除

▼ グループ

グループモード  ↓

グループモードを強制する  No ↓

デフォルトグループ  ↓

▼ ロールのリネーム

「マネージャ」に対するあなたの呼称

「コース作成者」に対するあなたの呼称

「教師」に対するあなたの呼称

「編集権限のない教師」に対するあなたの呼称

「学生」に対するあなたの呼称

「ゲスト」に対するあなたの呼称

「認証済みユーザ」に対するあなたの呼称

「フロントページの認証ユーザ」に対するあなたの呼称

## コースのパーミッション設定ページ

▼ ファイルおよびアップロード

最大アップロードサイズ  ↓

▼ 完了トラッキング

完了トラッキングを有効にする  Yes ↓

▼ ゲストアクセス

ゲストアクセスを許可する  No ↓

パスワード   マスク解除

▼ グループ

グループモード  ↓

グループモードを強制する  No ↓

デフォルトグループ  ↓

▼ ロールのリネーム

「マネージャ」に対するあなたの呼称

「コース作成者」に対するあなたの呼称

「教師」に対するあなたの呼称

「編集権限のない教師」に対するあなたの呼称

「学生」に対するあなたの呼称

「ゲスト」に対するあなたの呼称

「認証済みユーザ」に対するあなたの呼称

「フロントページの認証ユーザ」に対するあなたの呼称

## Moodle ユーザ

### ユーザの作成と利用

- 一般的なログインが必要なアカウントを作成可能
- 設定によりディレクトリサービスの利用も可能

### Moodle での特殊性

- 「グループ」は単純なユーザの分類ではない
- アクセス権の設定を「ロール」と呼ぶ
- ロールは既定のものをユーザに割り当てるのが一般的だが、自分で作成も可能

## コースのユーザ登録ページ

登録ユーザ

検索  登録方法 [すべて] ↓ ロール [すべて] ↓ フィルタ リセット ユーザを登録する

名 / 姓 ^ / メールアドレス	最終アクセス	ロール	グループ	登録方法
cc01 cc01 cc01@msvr00.a-learning.co.jp	現在	教師 コース作成者		手動登録 登録日時 2013年 09月 09日(月曜日) 13:32
st01 st01 msyk@mac.com	1日 2時間	学生 X	gr1 X	手動登録 2013年 09月 09日(月曜日) 00:00
ユーザ管理 nii@msyk.net	21時間 31分	学生 X		手動登録 2013年 09月 18日(木曜日) 00:00
北村 六郎 nii3@msyk	ロールを割り当てる [学生]			コース同期 (コースト1-学生) 登録日時 2013年 09月 09日(月曜日) 15:46
吉田1 八郎	登録オプション			手動登録 2013年 09月 09日(月曜日) 00:00
student1301@msy 吉田10 八郎	28名のユーザが見つかりました。		gr1 X	手動登録 2013年 09月 09日(月曜日) 00:00
1 maeda yoshiyuki 101maeda101@gmail.com	[登録]		gr1 X	手動登録 2013年 09月 09日(月曜日) 15:46
student1311@msy 吉田2 八郎	2 manager manage manager@msyk.net	[登録]		手動登録 2013年 09月 09日(月曜日) 00:00
student1302@msy 吉田3 八郎	3 Suzuki Kentaro sken0815@gmail.com	[登録]		手動登録 2013年 09月 09日(月曜日) 15:46
student1303@msy 吉田4 八郎	4 今泉 みゆき imaizumi@event.jp	[登録]		手動登録 2013年 09月 09日(月曜日) 15:46
student1304@msy 吉田5 八郎	5 佐々木 康 sasaki@cmdb.co.jp	[登録]		手動登録 2013年 09月 09日(月曜日) 15:46
student1305@msy 吉田6 八郎	6 佐藤 加奈 satokana@cmdb.co.jp	[登録]		手動登録 2013年 09月 09日(月曜日) 15:46
student1306@msy 村田 定子 nii4@msyk.net	7 北村 六郎 nii3@msyk.net	[登録]		手動登録 2013年 09月 09日(月曜日) 15:46
吉田2 八郎	[登録]			手動登録 2013年 09月 09日(月曜日) 00:00

ユーザを登録する

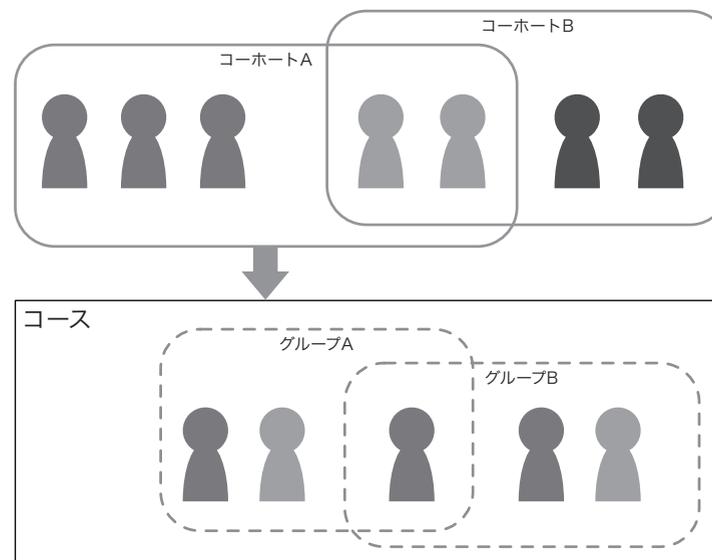
## Moodle のコースとグルーピング

### Moodle のグループ

- 1つのコースの中で、受講している学生を分類する単位
- 従って、グループは、コースの中に設定されるもの

### コース

- ユーザの集合として定義可能なもの
- コースとグループを結び、まとめて登録をする
- コース自体の定義は「マネージャ」以上のロールが必要



## グループの作成ページ

情報処理基礎1 グループ

グループ:  グループA (0)

メンバー: gr1 (3)

学生  
st01 st01  
吉田1 八郎  
吉田10 八郎

グループ設定を編集する  
選択したグループを削除する  
グループを作成する  
グループを自動作成する  
グループをインポートする

ユーザを追加/削除する

## グループへのユーザ登録ページ

ユーザを追加/削除する: gr1

グループメンバー

学生 (3)  
st01 st01 (msyk@mac.com)  
吉田1 八郎 (student1301@msyk.net)  
吉田10 八郎 (student1311@msyk.net)

潜在的メンバー

教師 (1)  
cc01 cc01 (cc01@msvr00.e-learning.c)

学生 (8)  
ユーザ 管理 (nil@msyk.net) (0)  
北村 六郎 (nil3@msyk.net) (0)  
吉田2 八郎 (student1302@msyk.net) (0)  
吉田3 八郎 (student1303@msyk.net) (0)  
吉田4 八郎 (student1304@msyk.net) (0)  
吉田5 八郎 (student1305@msyk.net) (0)  
吉田6 八郎 (student1306@msyk.net) (0)  
村田 定子 (nil4@msyk.net) (0)

検索  クリア

検索  クリア

検索オプション ▶

グループに戻る

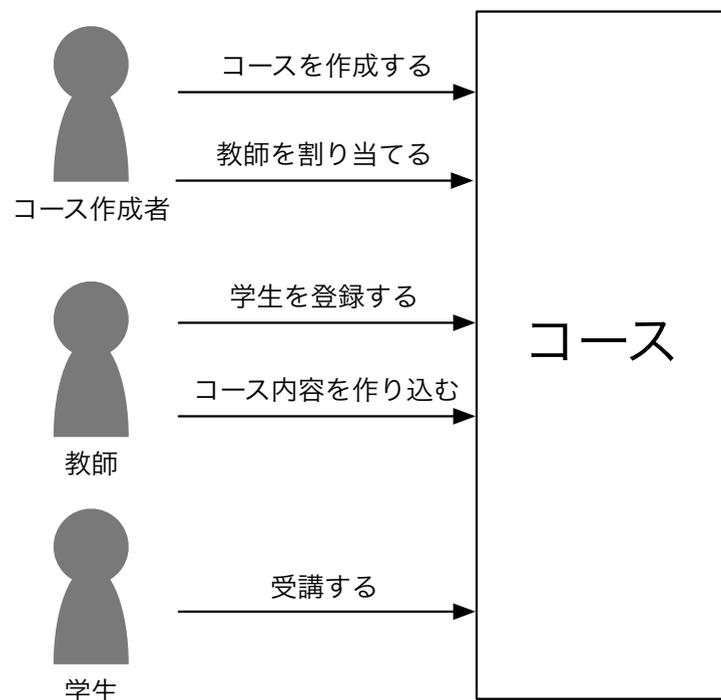
## Moodle の既定のロール

ロール名	ロール割当	作業可能な範囲
管理者	(最初の管理者)	サイト管理者の中の1つだけに設定される。管理権限の付与や削除が可能
サイト管理者	管理機能	ほぼ、すべての作業が可能
マネージャ	システム	コースの作成やユーザの管理などほとんど作業ができる権限、サーバ管理などはできない
コース作成者	システム	コースを作成できる
教師	コース	コースの作成はできないが、コースの中にコンテンツを入れたり活動を加えるなどコース内容を制作できる
編集権限のない教師	コース	評価などの作業はできるが、コース内容の権限はない
学生	コース	受講する権限。コンテンツの変更はできないが、課題提出や小テストはこの権限で作業する事を想定している
ゲスト		ログインしていないユーザの権限。コースにゲストの許可を与えることができるが、書き込みは一切できない
認証済みユーザ		すべてのログインしたユーザに対する権限
フロントページの認証ユーザ		認証ユーザに対するフロントページでのアクセス許可を与える

## ルールベースで見るコース作成の流れ

上位のルールは下位のルールでできることを含む

- ・ つまり、コース内容の制作等は、教師だけでなくコース作成者も可能



## ユーザの登録とコースへの割当

### ユーザの個別登録

- ・ ユーザー一覧でボタンを押して登録できる
- ・ 小規模なサイト、あるいは一時的な対処等で有効

### まとめてユーザを追加する方法

- ・ コーホート：割当は教師が可能、コーホートの定義はマネージャ
- ・ 一括登録：テキストファイルを利用する。マネージャが可能
- ・ メタリンク：あるコースの学生を自動的に自コースの学生にする

## 演習：コースを作成する

最初にブロックの利用方法をマスターした上で、実際にコースを1つ作ってみます。そして、作成したコースに、学生を割り当ててみます。サーバにはすでにユーザを登録したコーホート定義されており、そのコーホートを利用してまとめてユーザの登録を行うなどをやってみましょう。

### クリエイターでログインする

- 1 受講者用の PC で Internet Explorer を利用して、「<http://msvr00.e-learning.co.jp/moodle>」に接続します。
- 2 コースクリエイター「ccNN」（NN は受講者番号）でログインをします。アカウントの情報は、『1-1 本コースの概要』を参照してください。
- 3 「ナビゲーション」「カレンダー」「管理」といったボックスが見えています。こうした機能呼び出しや、あるいはナビゲーションのために用意されているボックスを「ブロック」と呼びます。
- 4 「カレンダー」のブロックのタイトル部分には2つのアイコンが右側に有ります。「-」をクリックすると、タイトルだけになり、「+」をクリックするとともに戻ります。
- 5 「<」をクリックすると、ウィンドウの端に貼り付きます。ウィンドウ端にある「カレンダー」をクリックすると、内容がポップアップします。

- 6 ポップアップしたカレンダーの中にある「>」アイコンをクリックするとともに戻ります。

このブロックの構成や位置は、管理者が指定することができます。一方、ここで見たようなウィンドウの端に移動させる作業は、すべてのユーザで可能です。

- 7 「ナビゲーション」ブロックにある「マイホーム」をクリックします。関連するコースがここでは表示されますが、ウィンドウ上部にナビゲーションのガイドとして、「Home ▶ マイホーム」と見えています。つまり、Home とマイホームは異なるものです。Home をクリックするとログイン直後のページが見えますが、これを Moodle では「フロントページ」と呼びます。つまり、画面上部の「Home」をクリックすれば、いつでもフロントページに移動できます。
- 8 「ナビゲーション」ブロックの「コース」をクリックすると、いくつか大学の学部名らしきものが見えています。ここで「Moodle 体験」をクリックします。
- 9 前の章で体験したコース名が見えています。ここでは、「Moodle 体験」はコースではなく、カテゴリとして定義したものです。
- 10 「ナビゲーション」ブロックの「コース」の部分をで階層をいろいろたどってみてください。ブロックの外に見えるリンクをクリックしないとさらに深く入れないかもしれません。「ナビゲーション」ブロックの「コース」では、カテゴリは単なる文字列で、コースは青い文字でリンクになっています。

カテゴリは階層的にも作成できます。カテゴリが作成できるのは管理者であり、コースクリエイタはカテゴリの作成はできません。「OSSLMS- 管理者基礎コース」で作成方法を学習します。Moodle 利用者にはいくつかの種類(ロールと呼びます)があって、Moodle システムの運用ではロールによってできることとできないことを把握しておく必要があります。

- 11 「管理」ブロックで、「マイプロフィール」→「プロフィールを編集する」とたどってください。「プロフィールを編集する」をクリックすると、ログインしている ccNN アカウントのプロフィール変更の画面になります。ここで、「姓」「名」をご自分のお名前に変更してください。この名前は他の受講者の方には見えますので、ペンネームでもかまいません。気になる方は「都道府県名」も変更してください。

- 12 「プロフィールを更新する」ボタンをクリックします。プロフィールの参照画面に

なりました。

- 13 画面左上の「Home」のリンク文字列をクリックして、フロントページに移動しておきます。

## コースを作成し、概要を入力する

- 1 「ナビゲーション」ブロックの「コース」をクリックして、カテゴリ一覧を表示します。
- 2 カテゴリが並んでいる中の「受講者」をクリックします。
- 3 さらにサブカテゴリがいくつか並びます。「受講者 NN」(NN は受講者番号)をクリックします。1 台のサーバを他の受講者と共有しますので、作業は異なるカテゴリ上で行っていただきます。間違えて他の受講者のカテゴリに移動しないでください。
- 4 ページ上部で、コースカテゴリとして「受講者 / 受講者 NN」が選択されているのを確認して、「新しいコースを追加する」ボタンをクリックします。このコース追加は、管理者とコースクリエイタであれば利用できる機能です。

なお、「新しいコースを追加する」はどのカテゴリでも表示されていました。このようにカテゴリの末端だけでなく、どのカテゴリにもコースは所属させることができます。また、特定のカテゴリにしかコースを追加できないようにするというロールの設定は、Moodle の標準機能では用意されていません。

- 5 「コース設定を編集する」というタイトルのページになりました。ここで、新しくコースを作成します。設定項目がたくさんあるので 1 つ 1 つ見て行く事にします。
- 6 「長いコース名」と「コース省略名」は、それぞれ「情報リテラシー概論」、「情リテ NN」(NN は受講者番号)と入力します。長いコース名は正式名称ですが、略称名は、「ナビゲーション」ブロックで見えるものです。もちろん、それぞれ同一の名称にしてもエラーはでません。ただし、コース省略名は、Moodle のシステム内では唯一の名前にする必要があります。
- 7 「コースカテゴリ」は、「受講者 / 受講者 NN」が選択されていますが、この確認は必ず行います。また、言い換えれば、このポップアップを選択すると、別のカテゴリにコースを作ることもできます。
- 8 「開講日」は本日になっていますが、ここではこのままにします。日付については

別途内容の編集で改めて検討します。

- 9 「コース概要」には、何か適当な文章を入力してください。ここに入力した文章がどこに表示されるのかを後で確認します。
- 10 「コースフォーマット」というリンク文字列をクリックします。ボックスに設定項目が見えます。
- 11 「フォーマット」は「ウィークリーフォーマット」となっていますが、まずはこのフォーマットを見てみる事にします。「セクション数」は「10」です。これも、このままにします。
- 12 その他「アピランス」「ファイルおよびアップロード」「ゲストアクセス」「グループ」「ロールのリネーム」のリンクをクリックしてどのような選択肢があるかを見ておきます。ここではすべては既定値のままにします。
- 13 「設定を保存する」をクリックして、設定を保存します。
- 14 ページ最上部のタイトルが長いコース名となっていて、このページが今作ったコースのページである事がわかるようになっています。ただし、ここでは「コース概要」は見えていません。
- 15 画面上部の「Home」のリンクをクリックして、フロントページに移動します。コース一覧に自分が作ったコースが見えていますが、ここでは「コース概要」として入力した文章が見えています。また、教師は自分自身の名前になっています。
- 16 画面左上の「Home」のリンク文字列をクリックして、フロントページに移動しておきます。
- 17 「ナビゲーション」ブロックの「コース」は、「マイコース」に変わりました。自分がどのコースにも登録されていない状況であるときのみ「コース」となり、どれかのコースに登録されれば「マイコース」となります。
- 18 「マイコース」をクリックします。自分が登録されているコースが一覧されます。もはやカテゴリは明確には見えません。

この後、新たにコースを作る場合には、ここまでに説明した方法は残念ながら使えなくなります。この状態の後に新たにコースを作る場合は、「管理」ブロックで「サイト管理」→「コース」→「コースを追加 / 編集する」とたどって、最後の項目をクリックします。

## 演習：コースにユーザを割り当てる

### ユーザを登録する

- 1 「ナビゲーション」ブロックの「マイコース」をクリックします。ページには、自分が登録されているコースが一覧されています。ここでは、コース概要も教師も表示されていません。
- 2 さきほど作成した「情報リテラシー概論」をクリックして、講義のページに移動します。
- 3 「管理」ブロックで、「ロールを切り替える」にある「学生」をクリックします。これまではコースクリエイタのロールでコースのページを見ていましたが、現在は学生というロールでページを見ます。あまり変わらないと思うかもしれませんが「管理」ブロックの「コース管理」の部分はほとんどが選択できません。現在のロールは、ページ右上やページ下部で確認できます。
- 4 「管理」ブロックで、「ロールを切り替える」にある「通常のロールに戻る」をクリックします。これで、ccNN に割り当てられているコースクリエイタのロールに戻ります。
- 5 「管理」ブロックで、「コース管理」→「設定を編集する」をクリックします。コースを新しく作ったときと同じページになっています。作成時に設定した内容を変更したいときにはこの操作を行って変更をします。この演習では変更しなくてもかまいませんが、もし修正したなら「変更を保存する」ボタンをクリックしてください。
- 6 「管理」ブロックで、「コース管理」→「ユーザ」→「登録ユーザ」をクリックします。現在は自分だけが登録されています。
- 7 ページ右側の「ユーザを登録する」ボタンをクリックします。
- 8 パネルが出てきます。パネルを見るとたくさんのユーザがありますが、「姓」「名」「メールアドレス」が見えていて、ユーザ名は見えていないようです。
- 9 ここで、メールアドレスが「stNN@e-learning.co.jp」のユーザを捜してください。検索をしてもいいでしょう。
- 10 パネル上部で「ロールを割り当てる」にある「学生」を選択します。そして、メー

メールアドレスが「stNN@e-learning.co.jp」のユーザの「登録」ボタンをクリックします。

- 11 パネル上の表示が少し変わります。パネル右上の「x」をクリックしてパネルを閉じます。
- 12 指定したユーザが追加されました。

### コーホートの割当

- 1 「管理」ブロックで、「コース管理」→「ユーザ」→「登録方法」をクリックします。ここではコースの登録を行う手段を確認できます。
- 2 「手動登録」は直前に行った手順での手法です。事実上1人ずつ登録や解除する方法です。他に「ゲストアクセス」と「自己登録(学生)」がありますが、グレーになっています。
- 3 「登録方法を追加する」のポップアップメニューでは「自己登録」という項目だけが見えています。
- 4 ページの右上ないしは下中央にある「ログアウト」をクリックして、ログアウトします。
- 5 ユーザ名、パスワードともに「manager」でログインをします。
- 6 コース一覧で、自分が作成した「情報リテラシー概論」を探してクリックします。
- 7 コースのページが表示されました。「管理」ブロックで、「コース管理」→「ユーザ」→「登録方法」をクリックします。
- 8 「登録方法を追加する」のポップアップメニューを見ると「コーホート同期」という項目があるのでそれを選択します。この項目は、管理者あるいはマネージャのロールがないと見えません。
- 9 コーホート同期の設定が可能なページが表示されています。ここでは「コーホート」から、「2013年度入学生」を選択し、他はそのままにして、「登録方法を追加する」ボタンをクリックします。
- 10 登録方法に「コーホート同期(2013年度入学生 - 学生)」という項目が追加されました。
- 11 「登録方法を追加する」のポップアップメニューを見ると「コーホート同期」とい

う項目が消えているわけではありません。さらにコーホートを追加することもでき、その場合は、「登録方法」に「コーホート同期」がいくつか並ぶ事になります。

- 12 ページの右上ないしは下中央にある「ログアウト」をクリックして、ログアウトします。
- 13 ユーザ名、パスワードともに「ccNN」(NNは受講者番号)でログインをします。  
本コースでは、コースクリエイタのロールで何ができるのかを見ていただくため、原則はccNNアカウントでログインした状態にし、必要に応じてログインをし直します。
- 14 ccNNでログイン後、フロントページで、自分が作成した「情報リテラシー概論」をクリックします。
- 15 「ナビゲーション」ブロックで、「現在のコース」→「情リテ NN」→「参加者」とたどって、「参加者」のリンク文字列をクリックします。参加者にはたくさんのユーザが登録されていますが、ここではコーホートなのか手動なのかは判別できません。この参加者一覧は、登録ユーザであれば見る事ができる一覧です。
- 16 「管理」ブロックで、「コース管理」→「ユーザ」→「登録ユーザ」とたどって、「登録ユーザ」のリンク文字列をクリックします。こちらは、教師やコースクリエイタでも参照できる画面です。それぞれのユーザの登録方法を見ると、手動で追加したユーザなのか、コーホートで追加したユーザなのかが分かります。また、登録方法の列のボックスを見ると、「手動登録」は「x」アイコンがあって削除できるのに対して、コーホートの解除はできません。
- 17 「管理」ブロックで、「コース管理」→「ユーザ」→「登録方法」とたどって、「登録方法」のリンク文字列をクリックします。「登録方法」に「コーホート同期(2013年度入学生 - 学生)」が追加されています。
- 18 「コーホート同期(2013年度入学生 - 学生)」の「編集」列に3つのアイコンがあります。目のマークのアイコンをクリックします。項目がグレーになり、無効になったことが示されました。
- 19 「管理」ブロックで、「コース管理」→「ユーザ」→「登録ユーザ」とたどって、「登録ユーザ」のリンク文字列をクリックします。コーホート同期で追加されたユーザは削除はされていませんが、グレーになっています。
- 20 「ナビゲーション」ブロックで、「現在のコース」→「情リテ NN」→「参加者」とたどっ

て、「参加者」のリンク文字列をクリックします。コーホートで追加したユーザはこのリストからは見えなくなっています。コーホート同期によるユーザは、まとめて有効 / 無効を切り替えることができます。

- 21 「管理」ブロックで、「コース管理」→「ユーザ」→「登録方法」とたどって、「登録方法」のリンク文字列をクリックします。
- 22 「コーホート同期 (2013 年度入学生 - 学生)」の「編集」列にある中央の目のマークのアイコンをクリックします。これで、このコーホートによるユーザ登録は有効となります。

### グループの割当

- 1 自分で作った「情報リテラシー概論」を選択している状態にしてください。そうならない場合や、あるいは自信がない場合は、ページ左上の「Home」をクリックしてコース一覧を表示して、改めて自分が作った「情報リテラシー概論」をクリックします。
- 2 「管理」ブロックで、「コース管理」→「ユーザ」→「グループ」とたどって、「グループ」のリンク文字列をクリックします。
- 3 左側のボックス内にある「グループを作成する」ボタンをクリックします。
- 4 グループの設定を行うページになります。グループ名で「グループ A」と入力して、「設定を保存する」ボタンをクリックします。
- 5 元の画面に戻ります。左側の一覧で「グループ A」が選択されている事を確認して、右側のボックスにある「ユーザを追加 / 削除する」ボタンをクリックします。
- 6 新たなユーザ追加パネルが表示されます。右側で、メールアドレスが「E13」で始まる項目をまとめて選択して、「◀追加」ボタンをクリックして、左側にユーザ一覧が出てくるようにします。
- 7 さらにメールアドレスが「stNN@e-learning.co.jp」のユーザも追加します。
- 8 「グループに戻る」ボタンをクリックします。
- 9 ここまでの手順を参照して、名称が「グループ B」で、メールアドレスが「S13」で始まるユーザが所属するグループを作成します。2つのグループが作成されました。

- 10 「ナビゲーション」ブロックで、「現在のコース」→「情リテ NN」→「参加者」とたどって、「参加者」のリンク文字列をクリックします。グループに関する情報は特になさそうです。
- 11 「管理」ブロックで、「コース管理」→「設定を編集する」とたどって、「設定を編集する」のリンク文字列をクリックします。
- 12 「グループ」のリンク文字列をクリックして、設定項目を表示します。
- 13 「グループモード」が「グループなし」になっています。ここで、ポップアップメニューから「可視グループ」を選択します。
- 14 「グループモード」の右の「？」をクリックすると、グループモードの選択肢についての説明がポップアップで出てきます。「グループなし」だと、グループの設定をしても、グループの存在が分からないのですが、他の2つはグループ内外からのアクセス権の設定の様式です。
- 15 「変更を保存する」ボタンをクリックします。
- 16 「ナビゲーション」ブロックで、「現在のコース」→「情リテ NN」→「参加者」とたどって、「参加者」のリンク文字列をクリックします。「可視グループ」というポップアップメニューが追加されていて、グループに所属しているのが誰なのかが分かります。

### 演習：受講者への通知の作成

#### ニュースフォーラムへの投稿

- 1 ページ左上の「Home」をクリックしてコース一覧を表示して、自分が作った「情報リテラシー概論」をクリックします。
- 2 右側に見える「最新ニュース」ブロックの「トピックを追加する」をクリックします。
- 3 「あなたの新しいディスカッショントピック」と記載されたボックスが見えます。「題名」に「コースを新設しました」と入力し、「メッセージ」は何か適当な文章を入力してください。

- 4 「フォーラムに投稿する」 ボタンをクリックします。
- 5 「最新ニュース」 ブロックには、今投稿したニュースが見えています。
- 6 コースのページの最初に「ニュースフォーラム」と見えています。これをクリックしても、書き込んだニュースが見えています。
- 7 このコースのニュースは、「フォーラム」という活動が自動的に設定されたものです。活動については次の章で詳しく説明します。

### メッセージのやりとり

- 1 「ナビゲーション」ブロックで、「現在のコース」→「情リテ NN」→「参加者」とたどって、「参加者」のリンク文字列をクリックします。
- 2 「可視グループ」のポップアップメニューでは「すべての参加者」を選択しておきます。
- 3 メールアドレスが「stNN@e-learning.co.jp」のユーザのチェックボックスをオンにして、選択します。
- 4 リスト下の「選択したユーザに対して」で「メッセージを送信する」を選択します。
- 5 メッセージを作成する画面になりました。タイトルではなく、メッセージ本文だけが見えています。本文に適当にメッセージを入力して「プレビュー」ボタンをクリックします。
- 6 プレビューで内容を確認して「メッセージを送信する」ボタンをクリックします。「選択されたユーザにメッセージが送信され、受信者リストがリセットされました。」と表示されました。
- 7 ページの右上ないしは下中央にある「ログアウト」をクリックして、ログアウトします。
- 8 ユーザ名、パスワードともに「stNN」（NNは受講者番号）でログインをします。
- 9 画面右下にメッセージが来ている事が示されています。そこをクリックしても参照できますが、通知がない場合のメッセージの参照方法を確認するため、そのまま次の手順に移動します。
- 10 「ナビゲーション」ブロックで、「マイプロフィール」→「メッセージ」とたどり、「メッセージ」のリンク文字列をクリックします。

- 11 ナビゲーションの右側にメッセージの到達を示す表示があります。リンクになっている箇所をクリックするとメッセージを参照できます。

以前のやりとりは「メッセージナビゲーション」にある「最近の会話」などで呼び出す事ができます。ここでのメッセージは送信者と受信者が1対1のチャットをやるようなものです。「メッセージ」に何か書けば、送信者にメッセージがとどき、それが「会話」としてまとめて管理されます。手軽な点は便利そうですが、以前のメッセージの場所が分かっていないと混乱することもあり、利用者側へのトレーニングが必要な機能でもあります。

---

### まとめ

- ・ Moodleの中で中心的な役割のものの1つが、1教科に対応する「コース」です。
- ・ コースとは別に、ユーザを登録しますが、そのユーザはコースへの登録がなされていないと、そのコースは参照できません。
- ・ ユーザをまとめてコースに登録する機能は「コーホート」と呼ばれるものです。グループではありません。

---

### 参考文献

- ・ 『Moodle 2.5 ガイドブック』 3.5. 管理ブロック
- ・ 『Moodle 2.5 ガイドブック』 4.1. コースを開設する
- ・ 『Moodle 2.5 ガイドブック』 4.2. コースカテゴリ
- ・ 『Moodle 2.5 ガイドブック』 5.1. ユーザの表示と編集
- ・ 『Moodle 2.5 ガイドブック』 5.2. ユーザの登録